

令和6年7月19日

会員薬局各位

公益社団法人広島県薬剤師会
会長 豊見雅文

平素より、本会の運営にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、HPVワクチンの接種に関して国が積極的勧奨を控えていたため、「平成9年度生まれ～平成19年度生まれ」の女性はほとんどが、無料で接種できるチャンスを逃してしまいました。後の調査や諸外国のデータで、重篤な副反応と報道されたものは、ワクチンを接種していない女性にも同じような頻度で発生することがわかっています。

この「平成9年度生まれ～平成19年度生まれ」の女性で過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない方々を対象に、令和4年度から令和6年度までの期間で、公費によるHPVキャッチアップ接種を実施することになりましたが、広報の不足等により、キャッチアップ接種は進んでいないのが実情です。この事業は今年度で終了するため、1回目の接種を9月中旬に開始しなくてはなりません。

本会では、集中的な周知と接種勧奨のため、県の取組に協力することといたしました。

なお、本会ホームページの最新情報(薬剤師のみなさまへ)に、県からの依頼全文をアップしますので、ご確認ください。

また、後日、県から、各薬局へ啓発資料(リーフレット)が送付されますので、薬局に来られる接種対象者又はその保護者への広報等にご協力いただきますようお願いいたします。

参考：わかりやすい岡山県のHPVワクチンの広報動画があります。

「岡山県 HPVワクチン 動画」で検索してください。

動画 「みんなで取り組む子宮けいがん予防！」

令和6年度 HPVワクチンキャッチアップ接種率向上に向けた取組について
(子宮頸がんの予防を目指した取組について)

令和6年6月28日
広島県健康福祉局長

本県における保健医療行政及び感染症対策の推進につきましては、日頃から多大なる御支援・御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

さて、子宮頸がんの原因とされるヒトパピローマウイルス (HPV) への感染を予防するため、予防接種法に基づく定期接種として、平成25年度からHPVワクチンの接種が公費により行われているところですが、接種後に生じうる多様な症状等について十分に情報提供できない状況であったことから、積極的勧奨の差し控えが行われた当年6月以降は接種率が著しく低下したため、国は平成9年度生まれ(令和6年度に27歳)以降の世代については、定期接種対象者に加えて、令和4年度から令和6年度の期間にHPVキャッチアップ接種(以下「キャッチアップ接種」)を実施し、接種率の向上による子宮頸がん予防の普及啓発に取り組んでいるところです。

しかしながら、令和4年度のキャッチアップ接種開始後も、依然として接種率は低い状況にあり、今年度で公費による接種が終了するキャッチアップ接種の集中的な周知及び接種勧奨が求められていることから、県としても市町や医療関係者を始めとした様々な関係機関と連携して、キャッチアップ接種の周知及び子宮頸がん予防の啓発に取り組むこととしています。

については、こうした県の取組の趣旨を御理解いただくとともに、接種対象者やその保護者が来局した際などは、HPVワクチンキャッチアップ接種(定期接種を含む)について、周知に御協力いただくようお願いいたします。

○広島県ホームページ

・子宮頸がん予防ワクチン (HPV ワクチン) について

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hpv.html>



(参考データなど)

現状・課題	関連データ
令和4年度から HPV ワクチン接種の積極的勧奨が再開されたが、他の定期予防接種と比較して、接種率が大幅に低い。	【令和4年度接種率実績(広島県全体)】 ・4種混合(第1期初回第3回):96% ・小児肺炎球菌(第4回):92% ・麻しん・風しん混合(第2期):92% ・ HPV(定期第3回):6%、HPVキャッチアップ(第3回):3%
子宮頸がん予防に関する知識や定期接種対象者への公費接種制度の周知が不足している。	【令和5年度厚生労働省調査】 (対象者6,000人、保護者(母親)2,800人へのアンケート) ・「HPV ワクチンが子宮頸がん予防に有効である」と認識している割合は、対象者本人母親ともに59.8% ・対象者本人の36.1%、母親の14.4%がHPV ワクチンを知らないと回答 ・キャッチアップ接種対象者の48.5%、母親の19.0%が公費で接種できることを知らないと回答
安全性が確認されているにも関わらず、過去に報道された接種後の健康被害に関する不安が払拭できていない。	【令和5年度厚生労働省調査】 ・対象者本人の48.5%、保護者の56.0%が「HPV ワクチンを接種すると、以前報道で見たような健康被害が起きるのではないかと回答

※公費(無料)で規定回数の接種を完了するためには、本年9月末までに1回目接種が必要です。

【がん検診サポート薬剤師、健康サポート薬局へのお願い】

がん検診サポート薬剤師(令和6年2月現在で県内に707名登録)には、がん検診の受診勧奨等の役割があります。きめ細かな受診勧奨等の一環として、引き続き、子宮頸がん検診を含む5がん検診の受診勧奨をお願いします。

また、健康サポート薬局(令和6年5月現在で県内83薬局届出)には、行政機関が作成する健康の保持増進に関する資料の配布等による啓発活動へ協力する役割があります。今回のHPVワクチンキャッチアップ接種勧奨への積極的な御協力をお願いします。

【問合せ先】

○予防接種に関すること

広島県健康福祉局健康危機管理課 感染症管理グループ

電話 082-513-3068 (ダイヤル) FAX 082-254-7114 E-mail: hcdc@pref.hiroshima.lg.jp

○がん予防・がん検診、がん検診サポート薬剤師に関すること

広島県健康福祉局健康づくり推進課 がん予防グループ

電話 082-513-3063 (ダイヤル) FAX 082-223-3573 E-mail: fukensui@pref.hiroshima.lg.jp